

合流式下水道緊急改善事業の事業評価シート(中間評価)

1. 対象事業

泉大津市汐見下水処理場合流改善事業

2. 実施主体名称

泉大津市

3. 計画期間

平成20年度から平成22年度

4. 対象事業の進捗状況

下記内容について、平成20年度より事業着手し、最終年度の平成22年度事業分の一部を平成23年度繰越事業として実施し、当初計画施設通りに事業を完了した。

汚濁負荷量の削減、公衆衛生上の安全確認

- ・最初沈澱池を雨水滞水池及び高速ろ過施設に改造
- ・エアレーションタンクを雨水滞水池に改造
- ・最終沈殿池を雨水滞水池に改造
- ・合流改善施設用ポンプ施設及び流域送りポンプの設置
- ・流域下水道接続管の布設

(きょう雑物の削減については、既設スクリーンにて除去)

5. 目標の達成状況と達成の見通し

【改善目標】

汚濁負荷量の削減(分流式下水道並みの汚濁負荷にすること)

分流並みの目標値:BOD放流負荷量43.4t/年

公衆衛生上の安全確保(未処理放流水の回数半減)

目標越流回数:28回/年

(きょう雑物の削減については、既設スクリーンにて改善済み)

【目標に対する達成状況】

改善項目	評価指標	対策前	中間評価	改善目標
緊急改善事業	合流式下水道改善率	0%	100%	100%
汚濁負荷量の削減	BOD放流負荷量	44.3t/年	本運転開始前にて未測定	43.4t/年
公衆衛生上の安全確保	年間越流回数	57回/年	本運転開始前にて未測定	28回/年

事業完了により施設に関しては100%改善済み。平成23年度末事業認可等をもって流域下水道への本流入を開始し、本運転を行う。

6. 対象事業の整備効果の発現状況等

改善施設を経由する下水道法施行令第6条第2項及び第13条第3項に基づく吐口からの放流水質の調査については、本運転が開始される平成24年度から実施の予定である。

合流改善事業中の流出水質(塩素混和池流入前測定値)の最終測定値は、下記の通り。
BOD値 15(mg/ℓ) (平成23年11月10日測定)、43(mg/ℓ) (平成23年11月17日測定)

7. 事業の効率化に関する取り組み状況

- ・ SPIRIT21の開発技術を導入した。(未処理下水の高速簡易処理)
- ・ 流域関連下水道への統合について、大阪府と協議のうえ実施した。

8. 今後の方針

事業の完了により、平成24年度4月からの本格稼働に伴い、放流回数削減等の改善目標が、達成されているか検証していく。